令和４年度　もみじ会 本部　事業報告

Ⅰ 重要施策の推進

１．本部体制の強化と職員の処遇改善

引き続き法人本部事務局体制を強化し、規則・規程等の改正、整備、整理を行い、施設間の事業及び事務規格等の統一を継続的に図りました。

また、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の活用により処遇改善手当の増額を行いました。

２．積極的な求人活動により、優秀な人材の採用を目指す

ハローワーク、求人サイト（リクナビ等）の活用、各種学校への求人活動、求人チラシ・ホームページの活用、法人独自の「職員紹介の協力に対する報酬支給内規」など積極的な求人活動により、正規生活支援員３名、正規看護師 1 名正規事務員 1 名、パート生活支援員３名の採用を行いました。

３．職員体制の強化と適正な人事管理を行う

適材適所及び事業運営の円滑化を考慮した人事異動を行いました。また、昨年度より継続し、外部の講師派遣により、管理職に対し研修計画及びマネジメントに関する研修を行いました。OJT 担当者による新人育成の実施及び職員研修実施要綱に基づき人材育成の体系化を図りました。

４．社会福祉充実計画の推進

栗の木荘の移築を遂行するため、障害者（児）施設等整備計画書を作成し申請をいたしました。

５．新型コロナウイルス感染症に対する対応

・各施設、事業所毎のＢＣＰの作成
・感染予防、防止対策の徹底
・会議及び施設行事、保護者会及び面会実施時の感染対策の実施
・職員及び利用者（保護者含む）への注意喚起、行動自粛の要請
・マスク、消毒液、予防衣等の確保
・兵庫県より配布の抗原検査キットの活用
・新型コロナウイルス感染症による休業等対応助成金の活用

各事業所でコロナ感染がありましたが、事業所間で物品及び職員の応援等法人全体で対応いたしました。

Ⅱ 事業内容

１．社会福祉事業の運営管理

もみじ会の運営する各事業の適正な運営管理

（１）理事会

①令和４年６月８日（金）

・令和３年度事業報告・決算について
・財産目録の承認について
・評議員選任・解任委員及び事務局員の選任について
・補欠評議員候補者の推薦について
・評議員選任・解任委員会の招集について
・評議員選任・解任委員候補者の選任について
・定時評議員会の開催について

②令和４年９月２日（土）書面による同意
・障害者支援施設栗の木荘施設整備計画の承認及び
「障害者（児）施設等整備計画書」の提出について
③令和４年１０月２０日（金）書面による同意
・職員の表彰について
・協和学園送迎車の購入について
④令和５年２月１日（水）書面による同意
・メイプルの就労移行支援の休止及び就労継続支援Ｂ型の定員変更について
・もみじホームの定員変更について
・メイプル・もみじホームの運営規程変更について
・役員賠償保険加入について
⑤令和５年３月９日（木）
・令和４年度補正予算（案）について
・令和４年度事業計画（案）・予算（案）について
・就業規則等の改正について
・評議員会の招集について
・施設長等の選任及び解任について
・運営規程の改正について
・賃金規程の改正について
・利用者預り金規程の改正について
・評議員会の招集について
（２）監事監査
令和４年５月３０日（月）
・監事２名による、事業並びに会計監査
（３）評議員会
①令和４年６月２３日（木）
・令和３年度事業報告・決算について
・財産目録の承認及び資産の登記について
・社会福祉充実計画（案）について
②令和５年３月２０日（月）
・令和４年度補正予算（案）について
・令和５年度事業計画（案）・予算（案）について
（４）施設長会議の開催
（５）その他の会議
（６）法人広報活動
ホームページの更新及びデザインの変更、機関紙「もみじ」の発行（４月、７月、１０月、１月）
２．その他
令和４年１１月１５（火）オンライン交流会の実施

令和４年度　協和学園　事業報告

Ⅰ 施設運営

４年度も協和学園は施設入所者に加え、日中は在宅とグループホームから通う生活介護事業所として、利用者の人数が多い中でも小グループに分け、できるだけ個人のニーズに沿った支援を行いました。今年度も新型コロナウィルス感染症対策として入所と通所を完全に仕切り、入所も男女とかえでホームに分けての支援を続けクラスターの発生抑制を行いました。

また全員参加型の交流行事は中止した上で感染状況に応じ、行事や外出など利用者の余暇の充実を図りました。

Ⅱ 支援内容

（１）生活支援

基本的日常生活習慣の確立、集団生活への適応訓練など

（２）作業支援

ブンセン箱折り、リサイクル作業など

（３）教養娯楽

余暇支援、クラブ活動、外出支援、音楽療法、など

（４）保健衛生

衛生管理、入浴支援、衛生検査、寝具の点検、健康管理
健康測定、散歩、健康体操など

（５）医療的処遇

健康診断、成人病検診、予防注射、服薬の適正管理、医療記録など

（６）安全教育及び訓練

防災教育、避難訓練、交通安全教育など

（７）給食

栄養管理、嗜好調査、選択メニュー、希望メニュー、その他

（８）自治会活動支援

利用者の主体性を尊重した自治会活動の支援

Ⅲ 地域交流・啓蒙活動

（１）地域清掃活動

年間５回　利用者６・７名程度　職員１・２名参加　能地、福栖地区など

（２）近隣施設との交流会

R4.12.16　東栗栖小６年生との交流会

（３）地域行事への参加

チューリップ球根植え（光都）

（４）ボランティアの受け入れ

今年度は新型コロナの影響により中止

（５）学校教育実習の受け入れ

5/23～27　龍野北高等学校看護科(10 名)

（６）情報発信

協和学園（もみじ会）ホームページの更新
保護者向け月刊広報誌「協和だより」の発行

Ⅳ 施設整備

（１）建　　築：なし
（２）修　　繕：各所修繕工事
（３）施設整備：なし
（４）固定資産：送迎車（8 人乗)、冷凍冷蔵庫、大型テレビ
（５）備品整備：各種備品の購入
（６）その他　：施設内抗菌消毒

Ⅴ 会議及び研修

（１）職員会議の開催
①職員会議・個別支援計画会議（毎月）
②部課長会議（毎月）
③グループ会議（毎月）
（２）ケース会議の開催
①連絡会議（毎朝）
②職員会議（毎月）
③ケースカンファレンス会議（随時）
（３）研修会への参加

研修日	研　　修　　名	参加者	会場・方法
R4.6.4	医療安全研修	西阪	オンライン
6.24	新任職員研修	浅野	オンライン
6.25	地域医療従事者感染症に対するゾーニング	西阪	オンライン
7.1	職場推進セミナー	秦	オンライン
7.15	OJT リーダー養成研修	嶋津	神戸
7.24	てんかん基礎講座	藤田綾	オンライン
8.24	播淡地区合同研修	梶本	オンライン
9.6	コーチング研修	鎌内	オンライン
9.21	組織マネージメント	梶本	オンライン
10.5	アンガーマネジメント研修	早田	オンライン
10.14	防火管理者研修	梶本･嶋津	宍粟
10.20	臨床で診る不安や脅迫	藤田綾	揖保川病院
10.25	兵庫県における新型コロナ感染症対応	西阪	オンライン
10.26	接遇研修	小林	オンライン
10.27	施設間協力支援体制	西阪	オンライン
11.7	播淡地区職員研修	春名	オンライン
12.7	雇用管理責任者講習	秦	オンライン
12.14	「こころのケア」シンポジウム	藤田淳	オンライン
12.15	誤薬に対する行動特性	西阪	オンライン
12.15	アンガーマネジメント研修	藤元	オンライン
R5.1.10～11	強度行動障害支援者養成研修	浅野	オンライン
1.16	BCP 研修	秦	オンライン
1.19	雇用管理責任者講習	秦	オンライン
1.30	管理職研修	秦	オンライン

1.31	労務管理研修	秦・西阪	オンライン
2.7	虐待防止研修	大坪	オンライン
2.7	看護管理者の魅力	西阪	オンライン
2.10	栄養士・調理師研修	中野	神戸
2.15	サービス管理責任者更新研修	梶本	神戸
2.16	経営者協議会研修	秦	オンライン
2.21	意思決定支援	徳力	オンライン
2.24	ヘルシーワークの実践知の共有	西阪	オンライン
2.24	播淡職員研修　分科委員会	梶本	オンライン
3.1	播淡施設長研修	村上	姫路
3.3	看護職と介護職の連携力強化研修	藤田綾	神戸

（４）内部研修会の開催
①研修報告会（毎月）
②外部講師を招いての研修会
（５）虐待防止委員会の開催
①虐待防止研修計画の策定
②事故対応等
（６）給食委員会
ほぼ隔月に委託業者と食事について検討
（７）栄養委員会
利用者の身体状況に合わせての食事栄養の検討
（８）感染症対策委員会
新型コロナウィルス感染防止対策（随時）

Ⅵ 職員配置

管理者１名（兼務）
サービス管理責任者２名（専任１名、兼務１名）
サービス提供職員（生活支援員及び看護師）３０名（常勤２３名、非常勤７名）
栄養士１名、事務員１名、用務員（非常勤３名）
嘱託医師２名（内科１名、精神科１名）
調理業務　委託業者（日清医療食品㈱）

Ⅶ その他

（１）生活介護事業（現員８９名／ 定員９５名　R5.3.31 現在）
新規３名（在宅２名、他施設１名）
退所４名（栗の木荘１名、三原ホーム１名、入院２名）
施設入所事業（現員５２名／ 定員６０名　R5.3.31 現在）
新規３名（在宅２名、他施設１名）
退所５名（かえでホーム１名、栗の木荘１名、三原ホーム１名、入院２名）
（２）短期入所（児・者）事業
延べ利用人数２６０名
（３）日中一時（児・者）事業
延べ利用人数５７６名
（４）地域生活支援
「かえでホーム」、「もみじホーム」のバックアップ支援

令和４年度　栗の木荘　事業報告

Ⅰ 施設運営

利用者の高齢化・重度化が進み、それぞれの障害特性にあった個別対応を必要とする方が増えています。ひとりひとりの利用者が主体的に、希望する暮らしができるよう支援を行い、専門的かつ質の高い細やかなサービス提供に努めました。

施設整備については、新築移転の為の土地の取得に向けて、現在関係機関と継続協議中です。

新型コロナウイルスの対策としては利用者、職員の感染防止対策や訓練の実施、必要な備品の購入、改修工事等を行いました。

（１）利用者のニーズに合ったサービス

利用者が主体的に、希望する暮らしができるよう、利用者の意思を最大限に尊重し、ニーズに合ったサービスの提供に努めました。

（２）地域交流・地域貢献

例年は連合運動会や小学校音楽会など地域行事に積極的に参加し、地域住民との交流や毎月の西地区コミュニティセンターでの清掃活動など地域貢献に努めておりますが、今年度も新型コロナの影響により一部を除き参加を見合わせました。

（３）住環境の整備

老朽化による各所空調設備の修繕工事、温水便座の修理、介護用ベッド、エアマットの購入などを行いました。

（４）危機管理体制の確立

たつの消防署との連携により防災対策に取り組んでいます。リスク管理については各種委員会に位置付け取り組んでいます。又、今年度も新型コロナウイルス感染対策として、毎月の感染症対策講習を実施しました。

（５）職員の資質向上

今年度も外部研修への参加が困難であった為、オンラインでの研修を中心に各種研修会に参加し、感染症対策や虐待防止の取り組みについて、検討を行うことで専門性を高めました。また強度行動障害者支援については、毎月のグループ会議で検討を重ねた上で、個別の利用者支援を行っています。

Ⅱ 支援内容

（１）生活支援

①食事支援：個々に応じた食事（刻み食、ミキサー食、アレルギー対応等）

②入浴支援：障害特性に応じた入浴支援　大浴槽、ユニット浴（個浴）、清拭

③排泄支援：トイレ誘導、介助、おむつ交換

④移動支援：自力歩行補助、車椅子介助

⑤着脱衣・整容支援：着脱、髭剃り介助、散髪

（２）日中活動支援

①作業支援

・ブンセン作業　　贈答用箱折り作業
・ゴルフ練習場作業　ゴルフ練習場でのボール拾い作業
・施設内清掃作業　　施設内各所の清掃作業

②創作活動支援
・ちぎり絵、ぬり絵、習字

③余暇・社会活動支援
・レクリエーション、カラオケ、ドライブ
・グループ外出、旅行（新型コロナの影響により中止）
・地域の行事参加（新型コロナの影響により不参加）

④リハビリ支援
・体操、ストレッチ、歩行訓練

⑤音楽療法
・講師を招いて月２回実施　（感染流行期には中止）

（３）保健医療

①健康管理
・健康診断　　年に２回実施
・身体測定　　身長測定は年１回、体重測定は毎月実施
・血圧測定　　毎月１回、脈拍と一緒に測定　必要に応じて毎日測定
・感染症予防　希望者にインフルエンザの予防接種を実施
新型コロナウイルス感染防止対策を実施（ワクチン接種、館内消毒、手指消毒、マスク、検温、換気、エリア分け、食事席変更等）

Ⅲ 地域交流・啓蒙活動

（１）地域清掃活動　（※新型コロナの影響により中止）
毎月１回、西地区コミセン清掃活動

（２）近隣施設との交流行事　（※新型コロナの影響により一部を除き中止、不参加）
R4.6.　西栗栖小学校との交流会
6.　西栗栖こども園との交流会
7.　光都学園夏まつり
8.　栗の木荘夕涼み会
10.　西栗栖小学校音楽会
11.　もみじフェスティバル（オンライン交流会として実施）
R5.3.　西栗栖小学校５年生との交流会　（リモートにて交流会実施）

（３）地域行事への参加（※新型コロナの影響により一部を除き不参加）
R4.5.　西地区連合運動会
11.　栗町グランドゴルフ大会
R5.1.　栗田とんど（準備に職員のみ参加）

（４）ボランティアの受け入れ　（※新型コロナの影響により中止）
行事ボランティアの受け入れ

（５）広報誌「栗の木だより」の発行
年４回、関係者に配布

Ⅳ 施設整備

（１）建　　築　　新築移転に伴う土地の取得について調整中

（２）修　　繕　　厨房内照明　厨房内トイレ改修　生活訓練棟サッシ入れ替え

（３）施設整備　　なし

（４）固定資産　　リフト車両入れ替え　介護用ベッド　エアーマット

（５）備品整備　　各種備品

Ⅴ 会議及び研修

（１）職員会議の開催

①職員会議・個別支援計画会議（毎月）

②部課長会議（毎月）

③グループ会議（毎月）

（２）ケース会議の開催

①連絡会議

②職員会議

③ケースカンファレンス会議（随時）

（３）研修会への参加

研修日	研　修　名	参加者	会場・方法
R4.4.22	播淡地区施設長会総会	山根	オンライン
5.17	福祉従事者新任職員研修（障害者福祉）	長井	オンライン
6.25	地域医療従事者スキルアップ研修会	岸本 石原 和田 森重	オンライン
7.15	令和４年度 OJT リーダー養成研修	大西	神戸
8.8	令和４年度全国知的障害関係施設長会議	山根	オンライン
8.18 19	令和４年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野雪	オンライン
8.19～ 9.21	令和４年度組織マネジメント基礎講座	堺　森重　福島　河津	オンライン
8.24	第 36 回　播淡地区施設長・職員合同会議	山根	オンライン
9.15 16	令和４年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野雪	神戸
9.21	令和４年度　リーダーシップ研修	福島	オンライン
10.12	令和４年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野雪	神戸
10.13 14	令和４年度　防火管理者講習	吉原	宍粟
10.20 21	令和４年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野雪	神戸
10.25	新型コロナウイルス感染症研修	岸本千	オンライン
11.7	播淡地区職員研修	足立	オンライン
11.29	摂食嚥下障害のケアに関する研修	片岡	オンライン
12.6	障害者虐待対応力向上研修	山本景	オンライン
12.7	令和４年度　介護労働者雇用管理責任者	山根	オンライン
R5.1.16	兵庫県福祉事業所における災害時 BCP 策定研修	山根　堺	オンライン
2.7	強度行動障害支援者養成研修	長井	オンライン

2.15	安全運転管理者講習	山根	姫路
2.21	播淡地区職員研修会　スポーツ委員会	福島	オンライン
2.28	兵庫県サービス管理責任者更新研修	堺	神戸

②施設内研修会（研修報告会）

（４）虐待防止委員会の開催

①虐待防止研修計画の策定

②事故対応等

Ⅵ 職員配置

施設管理者１名　　サービス管理責任者１名

直接処遇職員（支援員及び看護師）常勤２０名、非常勤１０名

栄養士１名　事務員１名　嘱託医師２名　用務員１名

調理　委託（日清医療食品）

Ⅶ その他

（１）施設入所者

退所者３名（法人内０名）

入所者２名（法人内１名　他法人１名）

（２）短期入所事業

延べ人数　　４人

（３）日中一時支援事業

延べ人数　　０人

令和４年度　三原ホーム　事業報告

Ⅰ 施設運営

令和４年度、三原ホームでは幸い退所に至る方はおられず、12 月には新たな利用者の方をお迎えすることも出来ました。

ただ、夏に起きたコロナウイルス感染症によるクラスターで入院を余儀なくされた方、シルバーカーを押して自力歩行が出来ておられた方が車椅子使用になる等、利用者にとっての生活の質が低下した事実は否めない状況であり、療養後もリハビリを兼ねて体力保持に努めました。

令和４年度の利用者状況は、平均年齢 69 才、障害支援区分は５が 15 名、６が 26 名と、昨年に比べても高齢かつ介護度は高くなっている状況です。新型コロナウイルス感染防止のみならず様々な疾病対策を講じながら、今年度も認知面並びに身体面に於いてどれだけ現状を維持して頂けるか、皆様の貴重な時間をいかに快適に有意義に過ごして頂けるかと、職員の統一見解として課題に挙げ、利用者と向き合ってきました。

また、令和４年度も三原ホーム各所に於いて老朽化が進み、改修や交換を要する箇所がありました。快適な空間・安全管理の点からも重要と捉え、適時対応しました。

（１）快適な暮らし

健康で安全な生活が送れるよう、十分な健康管理や体力の維持・情緒安定に努めました。利用者個々の意思を最大限に尊重しつつ、QOL の向上を目指して個別支援を充実させました。

（２）専門性の確立

高齢・重度者対応施設として支援の専門性を習得する各種の研修会にリモートながら積極的に参加し、それに基づいた施設内研修を実施することで、職員の資質向上を図りました。

（３）地域交流・地域貢献

地域住民との交流を願っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流の場を設けることはできず、昨年に続き三原まつりも断念せざるを得ませんでした。

また、佐用町教職員組合のボランティアも中止となりました。ほっとかへんネット（社協）や議員選挙などは、啓蒙や情報共有並びに地域交流の一環としての場と位置付け、その活動には出来る限り参加しました。

（４）住環境の整備

コロナ感染症クラスター後の全館専門業者による除菌並びに消毒を行いました。

また、例年の床面洗浄及びワックス塗布施行・害虫駆除の実施等、施設内美化並びに清潔保持に努めました。

（５）危機管理体制の確立

利用者・職員を災害・事故から守るため毎月の避難訓練・不定期の不審者対応訓練を実施し、有事の際の安全面に留意しました。その他、リスク管理や感染症等の予防、虐待防止・身体拘束廃止等の環境づくりを目的とした研修会や会議を適宜開催し、委員会活動も通じて具体化し、従事者の統一認識に努めました。

Ⅱ 支援内容

（１）生活支援（生活介護・施設入所支援）

①食事支援：ミキサー食、刻み食、療養食等

②入浴支援：特殊浴槽、ユニット浴（個浴）、清拭
③排泄支援：トイレ誘導、おむつ交換、導尿、浣腸、摘便、必要に応じた計量
④移動支援：自力歩行補助、車椅子介助
⑤着脱衣・整容支援：着脱補助、髭剃り補助、散髪
⑥保健医療支援：健康診断、予防接種（インフルエンザ・新型コロナウイルス）、
服薬管理、婦人科検診、通院支援、入院対応

（２）日中活動支援（生活介護）
①作業支援：ゴルフボール文字書き、リサイクル作業
②創作活動支援：ちぎり絵、ぬり絵、壁面製作
③余暇活動支援：レクリェーション、カラオケ、ドライブ、散歩
④リハビリ支援：体操、ストレッチ、歩行訓練、
⑤音楽療法：月２回（情緒安定と癒し効果、健康維持）

Ⅲ 地域交流・啓蒙活動

（１） 地域清掃活動
今年度は新型コロナウイルスの影響により施設近辺のみ実施

（２）近隣施設との交流会
今年度は新型コロナウイルスの影響により中止

（３）ボランティアの受け入れ
今年度は新型コロナウイルスの影響により中止

（４）地域行事への参加
今年度は新型コロナウイルスの影響により中止

（５）その他
佐用町社会福祉法人連絡協議会参加

Ⅳ 施設整備

（１）施設整備 ：エレベーター部品交換　居室雨漏り・屋外防水コーティング
排水溝グレーチング設置
（２）修　　繕 ：厨房エアコン洗浄作業　汚物除去機修理
（３）固定資産 ：医療用軽車輌入れ替え
（４）備品整備 ：感染症対応各種備品等

Ⅴ 会議及び研修

（１）職員会議の開催（毎月）
（２）研修会への参加

研修日	研　　修　　名	参加者名	場　所
R4.6.2	揖龍・宍粟・佐用給食施設協議会佐用支部第一部会研修会	白井	佐用町
6.13	人が育ち、自分も伸びるリーダーシップ研修	中野	オンライン
6.25	地域医療従事者スキルアップ研修 （感染症に対するゾーニングについて）	長谷川・三方 小林史	オンライン
7.15	OJT リーダー養成研修	長谷川準	神戸市

9.21	人が育ち、自分も伸びるリーダーシップ研修	海保	オンライン
10.5	アンガーマネジメント研修	内海	オンライン
10.18	令和４年度　佐用支部第一部会研修	白井	佐用町
10.20	揖保川病院公開セミナー	三方	たつの市
10.25	新型コロナウイルス感染症研修	長谷川千	オンライン
10.29	姫路赤十字病院　地域医療従事者スキルアップ研修	長谷川千	オンライン
11.7	令和４年度　第一回兵庫県施設協会　播淡地区職員研修会	竹内	オンライン
11.14	令和４年度　感染症患者療養支援者研修会	三方	たつの市
12.30	誤薬に対する行動特性について	長谷川千・三方	オンライン
R5.1.16	福祉事業所における災害時 BCP 研修	新井・中村	オンライン
1.17	令和４年度　兵庫県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修１日目）	竹内	オンライン
1.26	令和４年度　兵庫県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修２日目）	竹内	オンライン
1.31	令和４年度　労務管理研修	中村	オンライン
2.1	令和４年度　兵庫県サービス管理責任者更新研修	藤本	神戸市
2.3	令和４年度　兵庫県サービス管理責任者更新研修	長谷川準	神戸市
2.16	令和４年度　近畿ブロックセミナー	中村	オンライン
2.17	令和４年度　BCP 研修（佐用町連絡協議会）	中村	オンライン
3.1	揖龍・宍粟・佐用給食施設協議会　全体研修会	白井	オンライン

（３）職場内研修会の開催（毎月）
（４）給食会議（毎月）
（５）栄養会議（毎月）
（６）喀痰吸引等業務安全委員会（毎月）
（７）虐待防止委員会（毎月）

Ⅵ 職員配置

管理者１名、サービス管理責任者１名
サービス提供職員（生活支援員及び看護師）常勤１９名、非常勤１１名
栄養士１名、事務員１名、用務員２名、嘱託医師２名（内科１名、精神科１名）
調理業務　委託業者（㈱年輪）

Ⅶ その他

（１）施設入所者
　　12 月　１名入所（現在 48 名）
（２）短期入所事業
　　利用者なし

令和４年度　メイプル　事業報告

Ⅰ．運営方針

令和４年度、就労継続支援Ｂ型事業（定員 20 名）就労移行支援事業（定員６名）併設の多機能型事業所として事業展開致しました。利用状況は、就労継続支援Ｂ型事業 21 名、就労移行事業では他事業所移籍退所（1 名）、就労Ｂ型へ利用変更（1 名）があり、現在１名のみの利用となっています。就労移行事業においては利用者の減少、来年度以降の新規利用も見込めない状況にあり事業継続に課題も多く、将来的な事業展望の検討が急務な年度となりました。また、各種物価の高騰により、製菓に不可欠なあらゆる材料費の値上がりが今後も懸念されることから、自所製品の販売価格見直しも近々の課題となりました。

職業指導支援では、製菓と受託作業の両部門を作業の柱に取り組みました。製菓ではここ数年新型コロナウイルスによる影響が如実に出た生産・販売活動でしたが、コロナ感染拡大防止の規制緩和の流れに乗じ、市町主催の大規模イベントや民間、教育分野での催しも徐々に復活し、出店案内には積極的に応じ参加をいたしました。また販売所営業を軸に、従来取引のある県、市庁舎や各企業での訪問販売、また各種学校、こども園、保育園、老人大学、市内福祉事業所、法人内施設への注文・販売等においても良好な関係を保て、一定の成果を得ることができました。

施設見学や異職業交流を通じ、就労支援事業所の実状を伝え、日々の訪問販売やイベント等に地域交流の機会を得ながら、障害者支援、当事業所の活動等障害への認知・理解を求め、普及啓発を意識した活動に努めました。

受託作業部門では、コロナによる各提携会社の景気変動や、流通面で依然影響が出ており、受注に波はありましたが、既存の電気部品組立、箱折、詰め作業、ウエス作業、栗町公園の清掃作業に加え、新規内職作業（お茶パック）に順調な入荷があり、年度通じ利用者の活動の場を滞りなく確保することができました。

Ⅱ．支援内容

（１） 就労支援

① 職場開拓

② 施設外実習

③ 職場との連絡調整

④ 通勤の訓練及び支援

（２） 職業指導支援

① パン作り、クッキー作り

② 販売の補助的作業

③ 農園・栗町公園清掃作業

④ 内職（機械部品組み立て、リサイクル、箱折、箱詰め、ウエス、お茶パック）

（３） 教養娯楽

慰労会の開催
（お楽しみ抽選会や自所製品の提供等）

（４） 保健衛生
健康測定（検温、血圧測定など）

（５） 医療的処遇
健康診断、服薬の適正管理、救急時（ケガや発作）の対応

（６） 安全教育及び訓練
防犯訓練、避難訓練、消火訓練、交通安全教育など

Ⅲ．販売所の運営

① 市内にある学校関連の注文販売、各企業への訪問販売
② 季節に応じた新商品開発
③ 顧客のニーズに柔軟に対応
④ 世情に応じた価格等の見直し
⑤ レジ袋削減政策に基づき有料化実施
⑥ 食品表示法改正に伴い各商品に栄養成分・アレルギー・原産地等表示

Ⅳ.地域交流・啓蒙活動

（１）近隣施設との交流会	東栗栖小学校との交流会（1.2 年）
（２）地域行事への参加	公民館まつり　ゆうゆう大学　各種学祭・大会
（３）ボランティアの受け入れ	市民まつり販売ボランティア（龍野北高）
（４）広告等のＰＲ活動	ホームページ、たつの市ホームページ
（５）バザーや各種イベントへの参加	スターゲート江川・市民まつり、新宮ふるさとまつり
（６）施設見学・体験実習の受入	西はりま特別支援学校実習及び就労アセスメント 学生・一般見学者受け入れ

Ⅴ.施設整備

（１）建　　築：なし
（２）修　　繕：消毒保管庫修理・販売所電気設備・施設、販売所エアコンクリーニング
（３）施設整備：なし
（４）固定資産：ドゥコン、オーブン、ホイロ（やまぶき財団助成）エアコン（厨房）
（５）備品整備：床暖房循環ポンプ取替・ロールスクリーン（販売所）
フォークリフト車検、部品交換
（６）その他　：なし

Ⅵ.会議及び研修

（１）職員会議の開催
① 職員会議（毎月）
② 臨時職員会議（随時）

（２）ケース会議の開催

① 個別支援会議（毎月）

② 目標工賃査定会議（９月、３月）

③ 臨時ケース会議（随時）

（３）研修会への参加

研修日	研修名	参加者	会場・方法
R4.4.22	播淡地区総会・施設長、職員代表者合同会議	中井	WEB 開催
6.25	地域医療従事者スキルアップ研修会	尾前・前田	オンライン
7.13	食品衛生夏期講習会	尾前	赤とんぼ文化ホール
8.19	令和４年度組織マネジメント基礎講座	中井	オンライン
8.24	第 36 回播淡地区施設長・職員合同研究会	中井	オンライン
10.13	令和４年度西播磨就労・生活支援連絡会	中井	赤とんぼ文化ホール
12.2	商品パッケージデザイン研修	藤原	たつの市福祉会館
R5　1.16	兵庫県福祉事業所における災害時 BCP	中井	オンライン
1.31	令和４年度労務管理研修	中井	オンライン
2.16	令和４年度近畿ブロックセミナー兵庫大会	中井	オンライン

（４）内部研修会の開催

（５）虐待防止委員会の開催

① 虐待研修計画の策定

② 事故対応等

Ⅶ.職員配置

【就労移行】

就労支援員	常勤・専従	前田昌子	1
生活支援員	常勤・兼務	栗林幸二	0.2
職業指導員	常勤・専従	藤原安紀子	1
			2.2

【就労継続支援Ｂ】

目標工賃	非常勤・専従	田中清美	0.9
目標工賃	非常勤・専従	河津春美	0.9
生活支援員	常勤・専従	尾前自美	1
職業指導員	非常勤・専従	田邉　香	0.9
職業指導員	非常勤・専従	柿本佐代子	0.4
職業指導員	非常勤・専従	伊藤真理子	0.4
			4.5

令和４年度　もみじホーム　事業報告

Ⅰ 施設運営

令和４年度は、高倉の家８名・新町の家５名・いこいの家５名・鳳の家６名・平野の家６名・西町の家６名の合計 36 名でスタートし、3 月末の状況は、一般事業所 18 名、メイプルを含む福祉事業所 14 名、その他４名となりました。年間を通し職場定着に努め、コロナ禍ではありましたが、巡回や職場開拓も行いました。通勤手段が様々な利用者が、感染対策に努めながら安全に通勤できるよう支援を行うと共に、金銭管理等、就労と生活面の一体的な支援を行いました。

今年度も就労先を退職された利用者に、日中を高倉の家で過してもらう等、個々に応じての対応を行いましたが、行政との調整が今後の課題となっています。

Ⅱ 支援内容

自立・自活に向け、自立心を高揚させる関わりを持ち、円滑な地域生活を送るための支援を行う。

（１）職場定着支援　　職場巡回、事業所との連絡調整

	R4.3.31 現在	R5.3.31 現在
一般事業所	18 人（15 事業所）	18 人（15 事業所）
メイプル	10 人	8 人
他福祉事業所	5 人	6 人
その他	3 人	4 人

（２）対人関係の支援　　職場での人間関係、利用者間の人間関係
（３）余暇利用の支援　　交通機関の利用方法、買物支援
（４）金銭管理の支援　　計画的な金銭の使用
（５）保健衛生の支援　　入浴、寝具等の衛生管理、健康管理の助言（感染症対策）
（６）医療的支援　　通院支援、生活習慣病検診、医療記録の整備
（７）安全教育及び訓練　　防災教育、避難訓練、消火訓練、交通安全教育
（８）給食　　自立に向けての調理実習

Ⅲ 地域交流・啓蒙活動

（１）地域奉仕活動
能地地区自治会の行事参加
能地地区　とんど
新町地区自治会の行事参加
（新型コロナウィルス感染症の状況下であるが参加もあり）

（２）地域施設・団体との交流
夕涼み会（協和）（中止）
夕涼み会（栗の木）（中止）

Ⅳ 施設整備

（１） パソコン２台交換、冷蔵庫１台購入＜高倉の家＞
（２）洗濯機１台買い替え　＜西町の家＞
（３）電子レンジ買い替え　＜平野の家＞

Ⅴ 会議及び研修

（１）会議
職員会議、各ホーム世話人会議の開催（毎月）
ケース会議の開催（毎月）

（２）研修会への参加

研修日	研修名	参加者	会場・方法
R4.8.19～9.21	R4年度組織マネジメント基礎講座	信岡	オンライン
R5.1.16	自然災害に対する事業継続計画	坂口	オンライン
3.1	社会福祉法人財務管理講座	坂口	オンライン

（３）職場内研修会の開催
虐待防止・リスクマネージメント・感染症対策委員会の開催

Ⅵ 職員配置

管理者　兼務１名
サービス管理責任者　兼務２名
生活支援員　専従１名、兼務３名
世話人　非常勤12名、兼務１名

令和４年度　かえでホーム　事業報告

Ⅰ 施設運営

共同生活援助かえでホームは生活介護の利用者を中心にした「なごみの家」「きずなの家」（定員２０名）と、福祉就労の利用者を中心にした「よこまつの家」（定員１０名）により運営しています。

障害者支援施設「協和学園」の隣接地である利点を活かし、福祉就労の支援から身辺介護の支援まで幅広い生活支援、就労支援を行っています。

今年度も新型コロナウィルス感染症対策として衛生面や行動面に気遣いながらの支援でしたが、11月に「よこまつの家」でクラスターが発生し、終息するのに約２週間かかりました。

Ⅱ 支援内容

（１）生活支援

①食事支援

栄養管理、嗜好調査、選択メニュー、希望メニュー、その他

②排泄支援

③入浴支援

④着脱衣、整容支援

衣類の管理、整理整頓、寝具の点検、洗面・歯磨き、その他

⑤移動支援

（２）日中活動支援(生活介護)

①作業支援

ブンセン箱折り、リサイクル作業など

②創作活動支援

③余暇活動支援

④社会活動支援

役割支援（委員会活動、自治会活動等)、地域清掃活動など

⑤リハビリ支援

散歩、各種運動などにより健康増進を図る

日中活動支援（就労援助）

⑥職場定着支援

メイプル、協和学園、三原ホームとの連絡調整

⑦金銭管理の支援

（３）保健医療

①健康管理

医療記録、健康測定

②医療支援

通院支援、健康診断、成人病検診、予防注射など

③服薬支援

Ⅲ 地域交流・啓蒙活動

（１）地域清掃活動

能地地区清掃日（R4.5.22、7.17、9.18）

（２）地域行事への参加
とんど準備（R5.1.8)、とんど（R5.1.9)
（３）情報発信
かえでホーム(もみじ会)ホームページの開設・更新
保護者向け月刊広報誌「協和だより」の発行

Ⅳ 施設整備

（１）建　　築：なし
（２）修　　繕：各所修繕工事
（３）施設整備：なし
（４）固定資産：食洗器、プレハブ倉庫
（５）備品整備：各種備品
（６）そ の 他：なし

Ⅴ 会議及び研修

（１）職員会議の開催
①職員会議（毎月）
②定例職員会議（毎月）
③臨時職員会議
（２）ケース会議の開催
①連絡会議
②定例ケース会議（毎月）
③臨時ケース会議
（３）研修会への参加

R4.6.25	地域医療従事者スキルアップ研修	岡本	オンライン
8.26・9.11/18	組織マネジメント基礎講座	岡本	オンライン
10.30	西・中播磨かぞくねっと研修会	山田	オンライン
R5.1.16	管理職としての基礎知識	岡本	オンライン
3.14	サービス管理責任者更新研修	岡本	神戸

（４）内部研修会の開催
①感染対策にて協和学園研修報告会へは不参加
（５）虐待防止委員会の開催
①虐待防止研修計画の策定
②事故対応等

Ⅵ 職員配置

管理者１名（兼務）
サービス管理責任者１名（兼務）
生活支援員７名（常勤５名、非常勤２名）
世話人１０名（非常勤）
嘱託医師２名（内科１名、精神科１名）

Ⅶ その他

（１）共同生活援助事業（現員２８名／定員３０名　R5.3.31 現在）
今年度入所者１名、退所者なし

令和４年度　すてっぷ　事業報告

Ⅰ 概要

相談支援事業も10年が経過し、主として法人内の利用者を中心に障害者自身が望む、自立した社会生活を支えることを目的として、適切なサービスを利用できるよう計画を作成、法人内については、すべての計画が完了しています。

報酬単価の見直し以降、モニタリング期間も新しい期間設定にほぼ変更されています。市町村によって違いが未だにあるため、様式や届け出書類等、調整が必要な状況は継続しています。また、地域からの相談依頼も増え、たつの市地域福祉課及び地域包括、近隣の相談支援事業所と連携しながら、利用者の意向に沿った福祉サービスに繋げられるよう取り組んでいます。

令和５年度実施の、たつの市地域生活支援拠点運営へ相談支援事業所として参画、継続した事例検討等を行っていく為の体制を整えました。

県より指定を受けた一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）については、今年度依頼はありませんでしたが、受け入れ可能な状態を整えています。

Ⅱ 計画相談の実績

	法人内	法人外	合計
サービス等利用計画作成	１２１	３３	１５４
モニタリング報告書	３４９	８２	４３１

※様々な理由で終了した方８名、新規利用の方13名

Ⅲ 一般相談支援の実績

	法人内	法人外	合計
地域定着支援	０	０	０

Ⅳ 職員研修

① 相談支援専門員としての資質の向上と専門的知識の習得、情報収集を目的として研修会等に参加しました。

研修日	研　修　名	参加者	会場・方法
R.4.4.20	西播磨圏域自立支援協議会 相談支援部会	北川	龍野庁舎
6.5	西播磨圏域自立支援協議会 相談支援部会	北川	龍野庁舎
8.17	西播磨圏域自立支援協議会 相談支援部会	北川	龍野庁舎
10.19	西播磨圏域自立支援協議会 相談支援部会	北川	龍野庁舎
12.21	西播磨圏域自立支援協議会 相談支援部会	北川	龍野庁舎
R.5.2.21	兵庫県相談支援フォローアップ研修	北川	西播磨総合庁舎

②たつの市精神障害の方に対応できる地域生活拠点の事業運営へ参画　R5.2月・３月